



一雨ごとに秋が深まっていきます。2日ほど前にマンションの駐車場でキーキーという高い鳥の声が聞こえてきました。ジョウビタキです。今年も北国から冬の間こちらで過ごすために渡ってきたのです。来春まで彼らの声が今年も聴けることを嬉しく思います。皆様いかがお過ごしでしょうか。

★ジョウビタキ（オス）2018年11月3日
熊本市立田山自然公園にて撮影

■なかよし情報201025:1600回目の山!?

私が筑紫野市に引っ越して今年で13年になります。この街は西鉄電車で25分で福岡市の中心部天神に着きます。またJRの電車や高速バスが九州各地に向けて走っています。とても便利で、かつ適当な田舎で住みやすい場所です。

その街を見下ろす山があります。天拝山(てんぱいざん)と呼ばれていて標高は258mほどの丘のような山です。その昔、大宰府に左遷された菅原道真が、この山に登りその無実を天に向かって訴えたという言い伝えから、この名前が付いたと言われています。※昔は「天判山」と呼ばれていたそうです。

今では天拝歴史自然公園として多くの人に親しまれています。私も引っ越してからは時間があればよく訪れて、頂上までの軽い登山を楽しんでいます。つい先日その回数が1600回になりました。平均すると年間に120回くらい登ったことになります。3日に一度のペースです。

仕事の日や雨の日は登れませんので、その合間を縫って登り続けたことになります。随分と登ったものです。天拝山登山が、今の私にとって心身のリフレッシュには無くてはならないものとなりました。あと何回くらい登れるか楽しみにしています。登ることが出来る限り登りたいと思っています。

夏目漱石の「草枕」の冒頭に、「山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に掉させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。」とありますが、まさしく山路を登りながら、鳥の声、花の姿、木の香りなどを感じながら、一方で色々なことを考えます。森の環境が考える力を引き出してくれるようにも思います。

その天拝山の森を使って、9月から新しい活動を開始しました。それは、天拝山ネイチャーウォッチング(自然観察会)です。1600回も登ると、いつごろ、どこに行くと、どんな花が咲いているか、どんな実がなっているか、どんな鳥に出会えるか……等々、色々な知識と経験が私の中に蓄積されています。それをみんなで一緒になって楽しもうという企画です。

まだ実験的な取り組みなので来年春から本格的にスタートしようと思っています。皆さんも是非ご参加下さい。



来月は11月22日(日)です。9:30に天拝歴史自然公園内にある「天拝いこいの館」の庭に集合です。参加費はレジャー保険料も込みで500円です。参加したい方は longnet@mocha.ocn.ne.jp にお申込み下さい。一緒に楽しみませんか。※定員は20名です。先着順に受付しています。